

平成19年度
「分野別推進戦略」のフォローアップ
の結果について
(案)

平成20年6月

基本政策推進専門調査会
分野別推進戦略総合PT

目次

I.	「分野別推進戦略」について	1
II.	「分野別推進戦略」のフォローアップについて	2
	<分野別の予算の推移等の関連図表>	3
III.	平成19年度における各分野毎のフォローアップの結果	5
	1 ライフサイエンス分野	6
	2 情報通信分野	36
	3 環境分野	78
	4 ナノテクノロジー・材料分野	149
	5 エネルギー分野	177
	6 ものづくり技術分野	208
	7 社会基盤分野	221
	8 フロンティア分野	241
	名簿	259

I. 「分野別推進戦略」について

「分野別推進戦略」は、「第3期科学技術基本計画〔平成18～22年度までの5カ年間〕（平成18年3月28日閣議決定）」（以下「基本計画」という。）の重要な柱の1つとして、政策課題対応型研究開発を対象とした政府研究開発投資の戦略及び研究開発の推進方策をとりまとめたものである。

「分野別推進戦略」では、特に重点を置き優先的に資源を配分すべき「重点推進4分野」（ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料）、及び、国の存立にとって基盤的であり国として取り組むことが不可欠な研究開発課題を重視して研究開発を推進する「推進4分野」（エネルギー、ものづくり技術、社会基盤、フロンティア）を定めて戦略的投資を行うこととしており、戦略性を更に強化するために各分野（8分野）内においても選択と集中の一層の徹底を図ることとした。

具体的には、本推進戦略の中で、分野毎に「重要な研究開発課題（273課題）」、「戦略重点科学技術（62科学技術）」、「推進方策」を定め、「重要な研究開発課題」では、今後5年間に政府が取り組むべき重要な課題を将来波及予測、国際競争、政策目標への貢献、官民の役割分担など総合的な視点から抽出した。また、各課題毎に研究開発目標及び成果目標を政府の責任部署とともに明記し、政府の研究開発が何を目指すのかを明らかにした。

「戦略重点科学技術」では、重要な研究開発課題の中から今後5年間に集中投資すべき科学技術として、急速に高まる社会・国民のニーズに迅速に対応すべきもの、国際競争に勝ち抜くために不可欠なもの、国主導の大規模プロジェクトで国家的な目標と長期戦略を明確にして取り組むもの（国家基幹技術（5技術））を選定した。また、戦略重点科学技術は、重要な研究開発課題全体、あるいは単独又は複数の重要な研究開発課題の一部等、分野や技術の特性及び戦略理念に応じて、投資の重点化に適した範囲を定めた。また、融合領域等、複数の分野に関係する戦略重点科学技術については、主たる分野で戦略重点科学技術に選定することを明示し、必要に応じて関係する分野においても当該戦略重点科学技術との関係等について記述した。

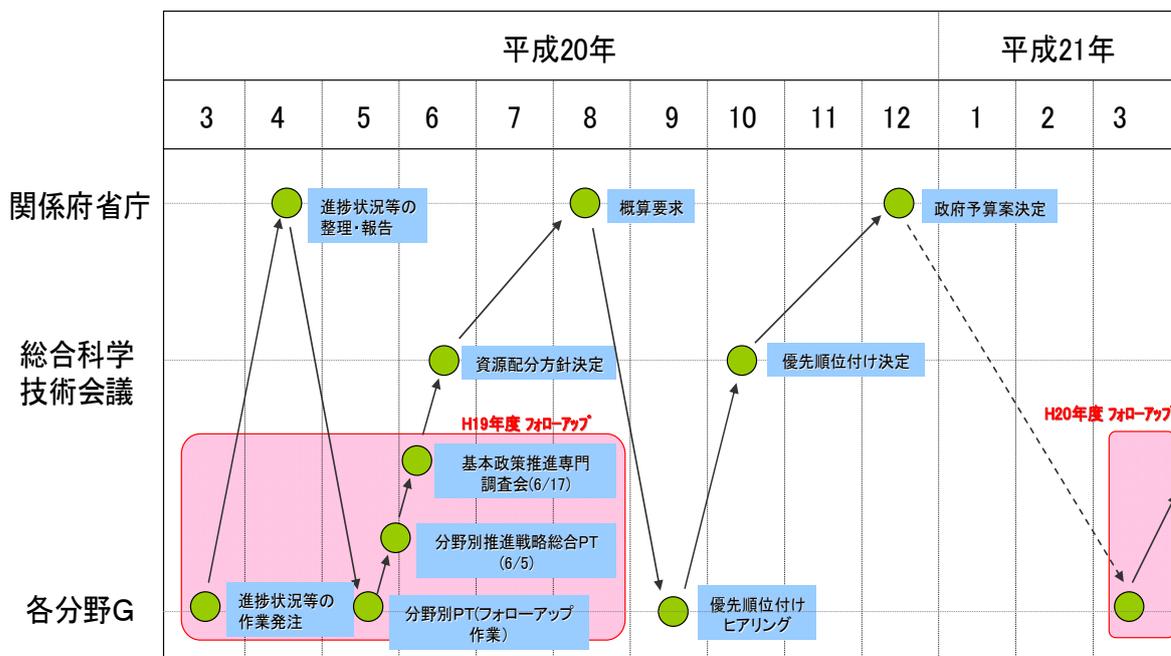
「推進方策」では、分野に特有の人材の育成、産学官や関連施策との連携強化、当該分野の研究成果の社会への還元を支える制度的な環境の整備など、各分野の研究開発や成果の社会・国民への還元を円滑に進めるために今後取組を強化すべき方策を明らかにした。

なお、最新の科学技術的な知見、新興領域・融合領域等の動向や研究開発の進捗状況、政策の動向、社会情勢を踏まえ、基本計画期間中であっても、必要があれば「重要な研究開発課題」や「戦略重点科学技術」等の変更・改訂を行うこととしている。

II. 「分野別推進戦略」のフォローアップについて

この「分野別推進戦略」のフォローアップについては、基本計画に基づき、平成18年度より毎年度実施している。平成19年度においても、基本的には昨年度と同様の内容で各分野毎にとりまとめることとするが、2年度目に当たるため、本戦略の推進により分野毎に連携が強化された具体的事例、分野を横断・融合して推進された具体的事例を追加的に記載するとともに、基本計画の政策目標、重要な研究開発課題の研究開発目標及び成果目標、個別の戦略重点科学技術の目標の進捗状況について可能な限りフォローアップすることとした。

フォローアップの流れ



各分野毎のフォローアップの結果は以下のⅢのとおりである。

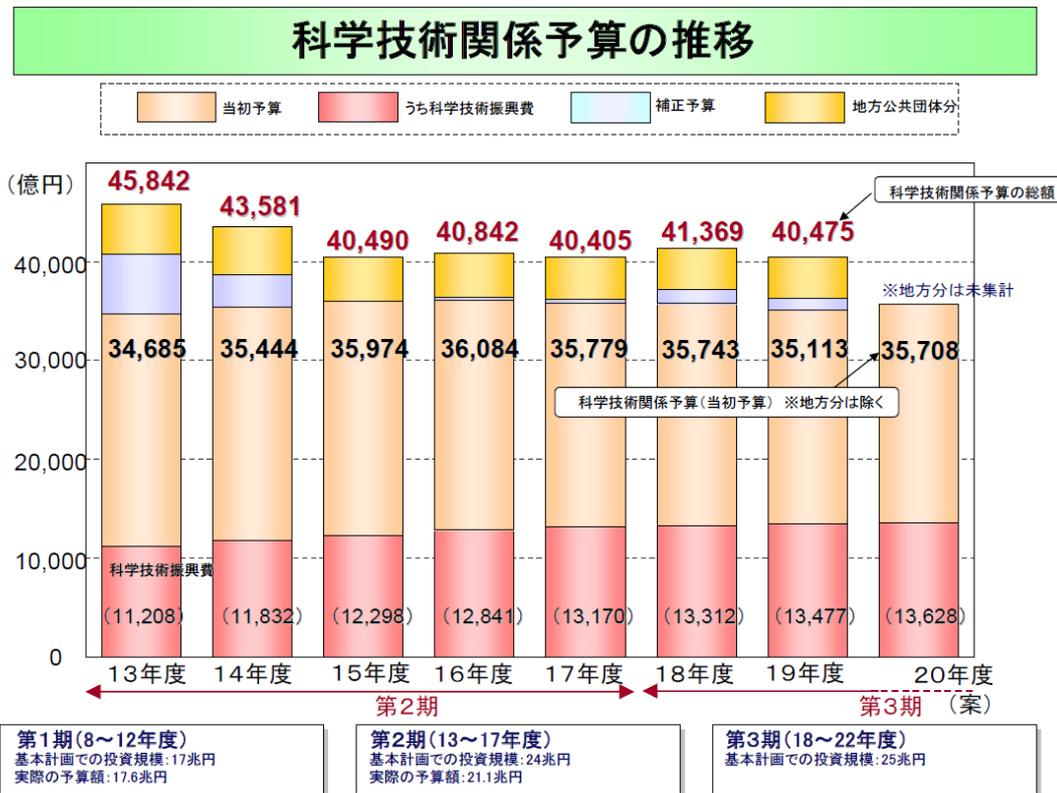
なお、「分野別推進戦略」にかかる予算の状況は次のとおりである。

<分野別の予算の推移等の関連図表>

※各府省から提出されたデータに基づき内閣府が集計。

※競争的資金、独立行政法人運営費交付金等については、過去の配分実績または配分見込みを基に按分しており、今後変更されることがある。

※平成20年度予算においては、平成19年12月25日時点のデータを元に集計。平成18年度予算は平成17年12月、平成19年度予算は平成18年12月時点のデータを元に集計。



平成20年度科学技術関係予算案における重点化の概略

20年度:3兆5,708億円



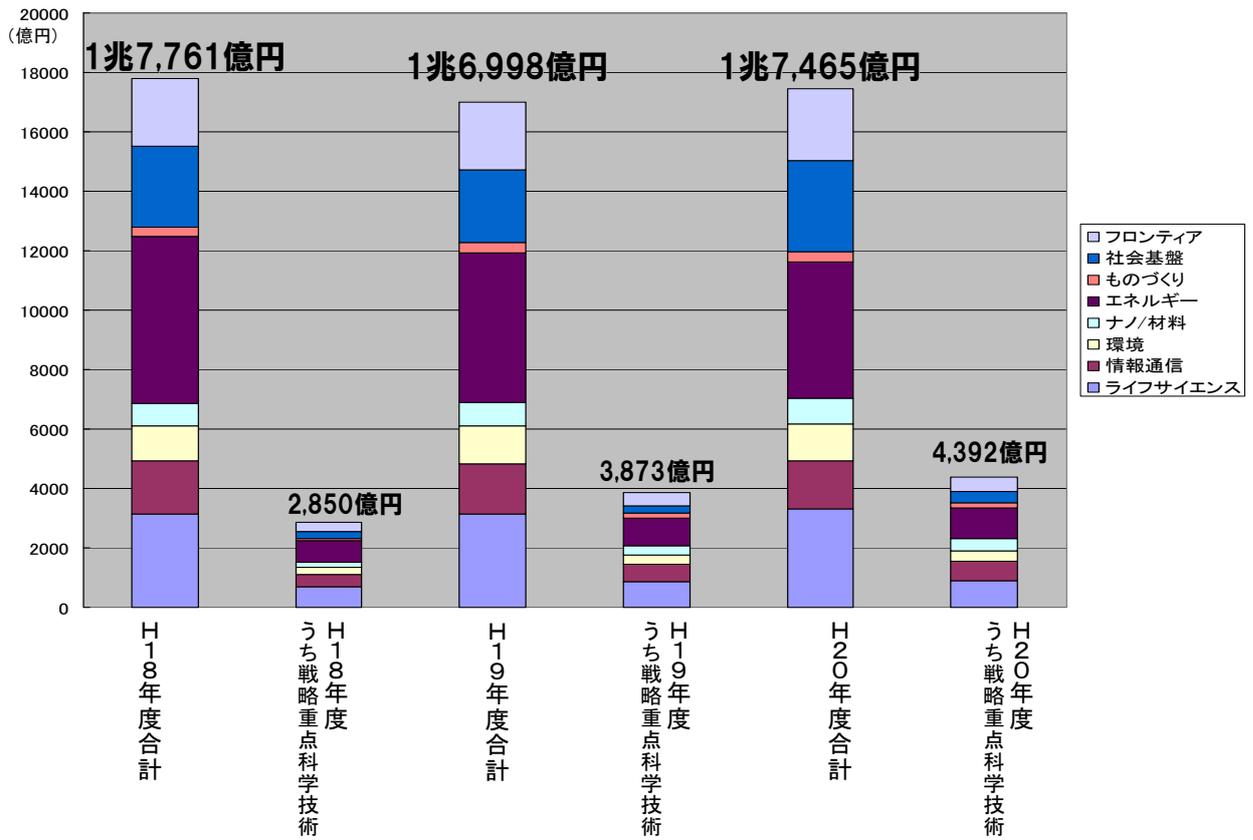
19年度:3兆5,113億円



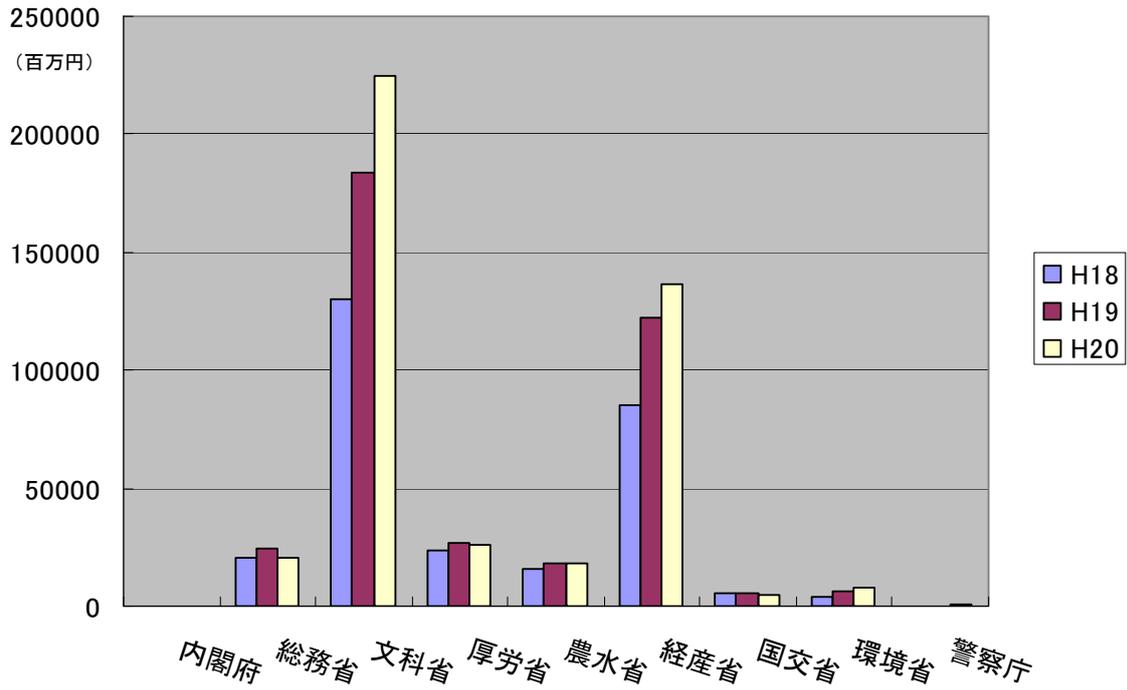
18年度:3兆5,743億円



政策課題対応型研究開発費(8分野)の推移



戦略重点科学技術(各省別)の推移



Ⅲ. 平成19年度における各分野毎のフォローアップの結果

【ライフサイエンス分野】

【情報通信分野】

【環境分野】

【ナノテクノロジー・材料分野】

【エネルギー分野】

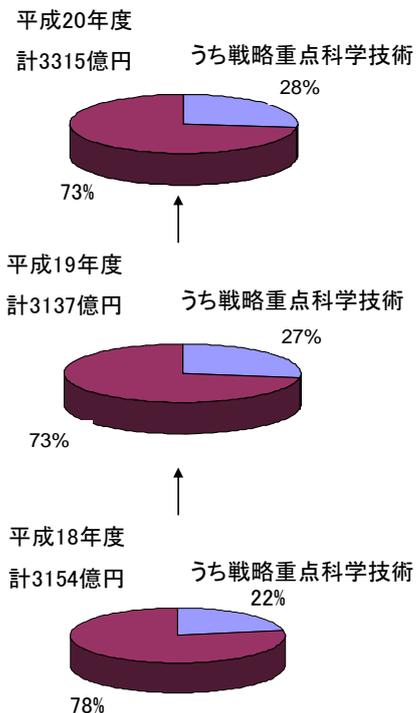
【ものづくり技術分野】

【社会基盤分野】

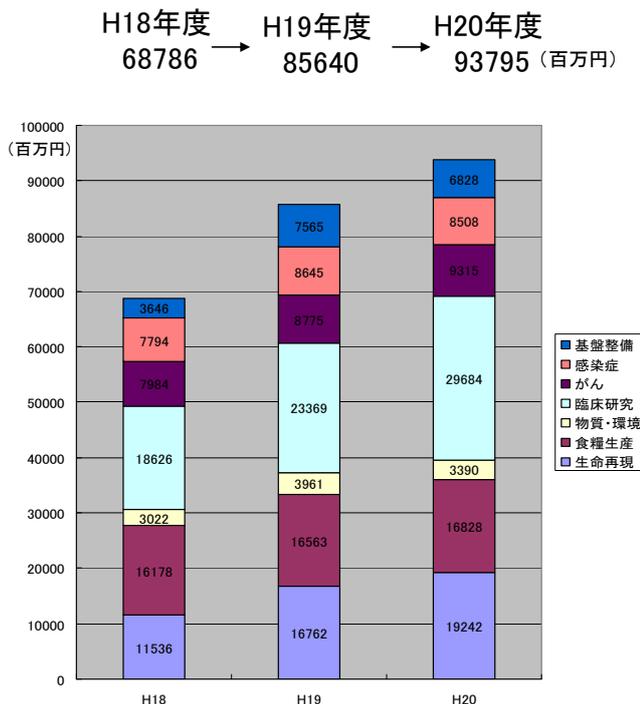
【フロンティア分野】

ライフサイエンス分野 戦略重点科学技術(H18→H20)

政策課題対応型研究開発



戦略重点科学技術内訳



※データは平成20年6月5日時点。
 ※公募の実施に従って実際の予算が決定されること等により、分野毎の現時点の集計値の「計」は3～4ページの資料の集計値と異なっている。

ライフサイエンス分野 戦略重点科学技術 府省別予算(H18→H20)

